

はしご車を更新しました



平成11年2月に配備した久喜はしご1号車を20年ぶりに更新しました。

今回更新したはしご車には、様々な最新機能が備わっております。

〈 諸 元 性 能 〉

全 長	1,090cm
全 幅	249cm
高 さ	353cm
車 両 重 量	20,000kg
排 気 量	8,860cc
乗 車 定 員	6人
最大地上高さ	30m
起 伏 角 度	-10度~75度
最大放水量	3,000L/分



【先端屈折式はしご】

はしごの先端が屈折することで、電線や



樹木などの障害物を避けて上から建物に接近することや、高層ビルのフェンスや手すりなどに囲まれた屋上でのスムーズな救助活動が可能です。

【電動放水銃】

先端バスケットには、毎分3,000リットルの大量放水が可能な電動放水銃が搭載されており、バスケット内を無人にして放水することも可能です。



【スーパーインポーズカメラ】

先端バスケットには、はしご車からの状況を映し出すモニターカメラと赤外線サーモグラフィカメラ（※国内初の装備）を搭載しており、基部のディスプレイにはしごの作業状態とカメラ映像を重ね合わせて表示できるスーパーインポーズ機能が備わっており、可搬モニターにも画像伝送が可能です。



【6×4（前1軸・後2軸/2軸駆動）】

後輪2軸が駆動するため、不整地や雪道での走破性が高くなっています。



※この車両は緊急消防援助隊設備整備費補助金（消防庁の補助金）の交付を受けて整備したものです。